

黎明

仙台市立錦ヶ丘中学校
第一学年 No. 33
2021. 1. 29
文責 千葉佐和子

ともいきミニッツ



11月から始まった「ともいきミニッツ」では、それぞれが考えをしっかりとめ文章にあわらしてきました。様々なテーマに対して、前向きに取り組んでいました。その中から、いくつかをご紹介します。

「ほんとうの優しさとは・・・」

私は、病気のことを素直に言うべきだと思います。理由は、言うことで運命が変わっていくと思うからです。

佐藤さんの仕事は、漫画家なので、末期がんのことを話せば物語を完結させられると思います。漫画が完結すれば一つの作品となり、残せると思います。それが佐藤さんの亡くなるまで頑張った印、生きていた証になると思います。それに、話せば、やりた



いこともできると思いました。このことから、私は素直に言うべきだと思います。

素直に伝えるべきだと思います。私だったら、大切な人と別れるのは辛く悲しいことで、しかも病気で亡くすのは、悔やんでも悔やみきれないと思います。だからこそ、奥さんはガンということを佐藤さんに伝えて残りの3ヶ月から1年の月日を過ごすことが佐藤さんへのほんとうの優しさなのではないかと考えました。

私なら、佐藤さんに末期ガンであることを伝えません。なぜなら、短くて3ヶ月長くて1年のその間の時間を奥さんと一緒に過ごし、大切な時間にすればいいと思ったからです。もし、伝えてしまったら佐藤さんは奥さんとの大切な時間を過ごせないと思ったからです。伝えなくて2人だけの時間を過ごすというのが本当の優しさだと思います。



私は、このことを何も言わずに安心させておいた方がいいと思いました。理由は、佐藤さん本人に話してしまうと、悲しみ、生きる希望を失ってしまうかもしれないので佐藤さんが安心して生活できることを考えて言わない方がいいと思いました。私は、この話から物事を言うときも相手の気持ちになってしっかりかんがえてあげることこそが、ほんとうに優しい心の人だと思いました。

「一人じゃどうにもならなくなったら、誰かに頼れ、でないと実は誰もおまえにも頼れないんだ」

意地張って一人で終わらせようとするときがあっても、素直になって、誰かに頼ることが大切だと思います。そして何でも一人で終わらせようとする他の人も自分に頼ってくれなくなる。誰かとの助け合いができなくなると思いました。人生の中で助け合いは必ず大切だと思います。頼りすぎ、頼られすぎはよくないけど、意地をはらずに誰かと助け合いながら生きたいです。

私は、この漫画を読んで人に頼るのは失礼な事ではないと思いました。理由は、人は産まれたときから誰かに頼って生きているからです。そうでないと今まで生きてはいないからです。母や父や先生や友だちに頼って皆は生き続けるからです。今は頼っていかなくても昔は頼っていたはずです。以上の理由から、私はもっと人に頼った方がよいと思いました。

